

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名	Molecular biological analysis of hantavirus relating to chronic kidney disease by unknown etiology (CKDu) in Sri Lanka
研究開発機関名	北海道大学
研究開発代表者名	森松 組子

指摘事項

● 評価できる点

スリランカにおける原因不明の慢性腎臓病（CKDu）の原因の一端がハンタウイルスであることを明らかにし、今回の調査研究で捕獲したハツカネズミからウイルスゲノム全長遺伝子を同定した。これらの結果は、自然宿主の特定は感染環を明らかにし、その防止対策を確立するために重要な成果として評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

今後、CKDuとハンタウイルスの因果関係の検証を継続し、ヒトへの感染のメカニズムや人への感染のメカニズムや、対策に資する研究への発展が望まれる。

以上